

施策評価表

1次評価日（課長等） 26年 9月 30日

2次評価日（部長等） 26年 10月 1日

1 施策の概要

施策名	消防・救急体制の充実	コード	9-4
この施策の主な内容（細施策）	①消防施設の充実と消防力の強化、②救急・救助の充実、③消防広域化への対応、④火災予防の推進と防災意識の高揚、⑤消防団の充実		
第4次総合計画におけるこの施策の目的	火災や大規模自然災害から、市民の生命・財産・身体を守るために、消防水利や消防機材を充実させるとともに、地域防災の要の組織である「岡谷s消防団」の充実を図り、消防力の強化を図る。		
担当部課	部 総務部	課等 消防課	作成者 大下彰一

●施策の実施内容（D0）

2 施策指標の達成状況

*第4次総合計画における目標指標の達成状況（最終年度：25年度）

施策指標名	単位	23年度	24年度	25年度		26年度	27年度	
		実績値	実績値	目標値	実績値	達成率	目標値	目標値
① 消防水利施設の充足率	基	878	876	930	877	94.3%	-	-
指標説明	26年度以降の目標数値については、第4次総合計画後期基本計画より施策指標を変更したため数値なし							
② 防災組織への訓練指導回数	回	39	38	50	42	84.0%	-	-
指標説明	26年度以降の目標数値については、第4次総合計画後期基本計画より施策指標を変更したため数値なし							
③ 消防団員の充足率	%	55.7	53.7	55.0	52.9	96.2%	-	-
指標説明	26年度以降の目標数値については、第4次総合計画後期基本計画より施策指標を変更したため数値なし							

3 施策全体にかかる合計コストの推移

*項目6より「直接事業費」「人件費」の合計を自動表示

単位：千円

	23年度	24年度	25年度	26年度（予算）
直接事業費	484,694	491,031	1,142,627	1,088,293
人件費	20,640	39,840	39,040	38,240
合計コスト	505,334	530,871	1,181,667	1,126,533

●施策の評価（CHECK）

4 施策の現状評価

*25年度に施策の目的がどこまで達成できたか、施策の進行状況に関する順調／不調の判断

- ・消防水利施設整備については、水道工事や土木関連工事に併せ設置経費の削減を図っている。本年度は消火栓新設4基、老朽撤去3基により、1基の増となっている。
- ・訓練指導回数については増加したものの、目標数値を下回っているため、更に積極的に取り組む。
- ・消防団員の出勤率については、概ね良好な達成数値と考えている。

*岡谷市の現状のうち、この施策にとって強み／弱みとなる要因

岡谷市の強み	平成18年の豪雨災害の経験から、行政や市民一人ひとりの防災意識が大変高いこと。
岡谷市の弱み	地域の財政力

5 今後の外部環境の変化

*27年度以降に予測される社会・経済などの環境変化のうち、この施策に具体的に影響する要因

有利に働くもの	国の防災対策事業の拡大
不利に働くもの	災害頻度の上昇及び大規模化

●改善の内容 (ACTION) / 次年度の計画 (PLAN)

6 平成27年度 施策を構成する事務事業の方向性

●基本的な考え方

*優先して実施する分野=優先度がA・Bの事業：拡大する事業や新規事業の内容、優先的に実施する理由
 *見直しを行う分野 =優先度がC・Dの事業：見直しの内容、見直しや廃止をする理由

優先して実施する分野	市民の安全・安心な暮らしの確保を目的に、団員の資質向上に努め、地域や事業所などと一体となった入団しやすい環境づくりや、魅力ある消防団組織作りに努める。 また、消防水利については、「消防力の整備指針」に基づき、耐震性貯水槽、消火栓の整備を計画的に進め、消防水利の質的な向上を図り、消防力強化に努める。
見直しを行う分野	消防団活動事業は、本来の消防団業務以外にも、地域や各種団体等からのさまざまな要望や依頼に基づいた事業などを幅広く展開している。消防団員確保に苦慮する背景には、団員への負担増（拘束時間の長期化）がひとつの要因であり、負担軽減を図るため、事業や行事そのものを根幹から見直し、本来の業務である「災害対応」を中心として、中長期的に市民の安全・安心の進展に寄与する事業展開を目指す。

●27年度の優先度

*事務事業の方向性が「継続」の事業についてA～Cにランク付け
 A：拡大、B：現状維持、C：見直し、-：廃止・完了・統合

直接事業費・人件費の単位：千円

No	新規事業	様式	実施義務	事務事業名	成果指標		直接事業費		人件費		妥当性	方向性	優先度
					指標名	単位	23年度	23年度	23年度	24年度			
1		内部	あり	消防事務	-	-	-	1,132	0	-	-	継続して実施	A：拡大
							-	1,127	0				
							-	1,867	0				
							-	2,007	0				
2		内部	あり	諏訪広域消防事務	-	-	-	386,369	0	-	-	継続して実施	B：現状維持
							-	402,469	0				
							-	440,723	0				
							-	387,903	0				
3		内部	あり	消防団施設整備事業	-	-	-	7,140	800	-	-	継続して実施	B：現状維持
							-	5,400	800				
							-	7,140	800				
							-	0	800				
4		建設	あり	消防水利整備事業	執行率	%	-	2,763	800	-	-	継続して実施	B：現状維持
							-	950	800				
							-	21,115	800				
							-	0	0				
5		内部	あり	消防水利管理事業	-	-	-	1,223	800	-	-	継続して実施	B：現状維持
							-	950	800				
							-	948	800				
							-	950	800				
6		内部	あり	水防資機材整備事業	-	-	-	93	960	-	-	継続して実施	B：現状維持
							-	50	960				
							-	50	960				
							-	50	960				
7		内部	あり	消防施設整備事業	-	-	-	1,452	800	-	-	継続して実施	B：現状維持
							-	1,880	800				
							-	0	0				
							-	0	0				
8		内部	その他	諏訪広域消防一元化	-	-	-	0	0	-	-	26年度未完了	B：現状維持
							-	0	0				
							-	0	0				
							-	0	0				
9		建設	なし	新消防庁舎建設事業	進捗率	%	-	0	0	-	-	26年度未完了	B：現状維持
							-	8,864	19,200				
							-	601,777	19,200				
10		一般	あり	自主防災組織等育成事業	訓練指導、イベント、配布、会議、研修の件数	件	-	0	1,280	高い	-	継続して実施	B：現状維持
							-	0	1,280				
							-	0	1,280				
							-	0	1,280				

●改善の内容 (ACTION) / 次年度の計画 (PLAN)

6 平成27年度 施策を構成する事務事業の方向性

●基本的な考え方

* 優先して実施する分野＝優先度がA・Bの事業：拡大する事業や新規事業の内容、優先的に実施する理由
 * 見直しを行う分野＝優先度がC・Dの事業：見直しの内容、見直しや廃止をする理由

優先して実施する分野	市民の安全・安心な暮らしの確保を目的に、団員の資質向上に努め、地域や事業所など一体となった入団しやすい環境づくりや、魅力ある消防団組織作りに努める。 また、消防水利については、「消防力の整備指針」に基づき、耐震性貯水槽、消火栓の整備を計画的に進め、消防水利の質的な向上を図り、消防力強化に努める。
見直しを行う分野	消防団活動事業は、本来の消防団業務以外にも、地域や各種団体等からのさまざまな要望や依頼に基づいた事業などを幅広く展開している。消防団員確保に苦慮する背景には、団員への負担増（拘束時間の長期化）がひとつの要因であり、負担軽減を図るため、事業や行事そのものを根幹から見直し、本来の業務である「災害対応」を中心として、中長期的に市民の安全・安心の進展に寄与する事業展開を目指す。

●27年度の優先度

* 事務事業の方向性が「継続」の事業についてA～Cにランク付け
 A：拡大、B：現状維持、C：見直し、－：廃止・完了・統合

直接事業費・人件費の単位：千円

No	新規事業	様式	実施義務	事務事業名	成果指標	指標名	単位	直接事業費				人件費	妥当性	方向性	優先度			
								23年度	24年度	25年度	26年度							
11		一般	あり	消防団活動事業	訓練等出動人員	人		84,522	69,341	69,007	70,278	15,200	15,200	15,200	15,200	高い	継続して実施	B：現状維持
12																		
13																		
14																		
15																		
16																		
17																		
18																		
19																		
20																		